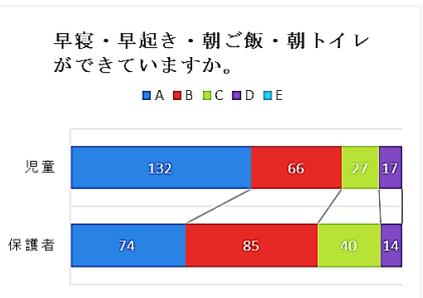
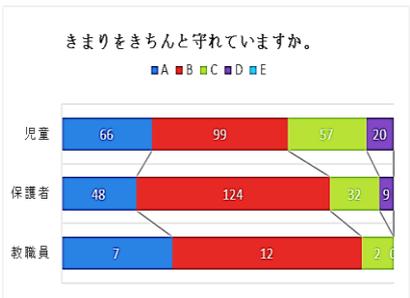
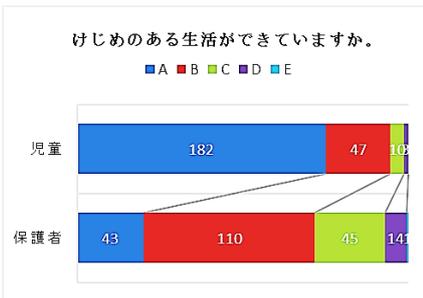
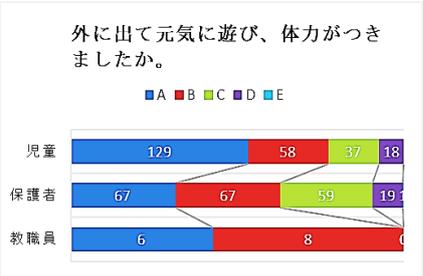
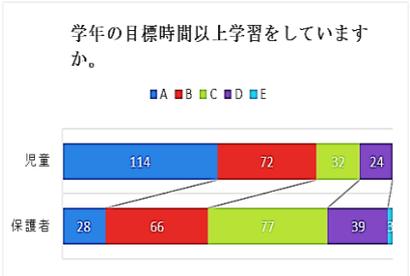
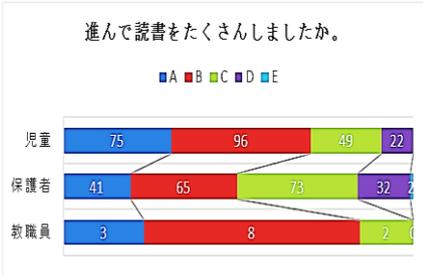
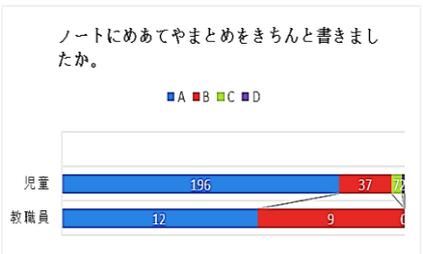
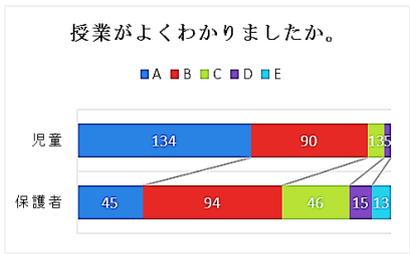
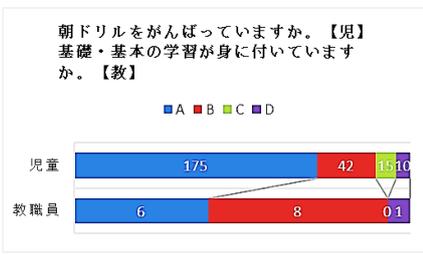
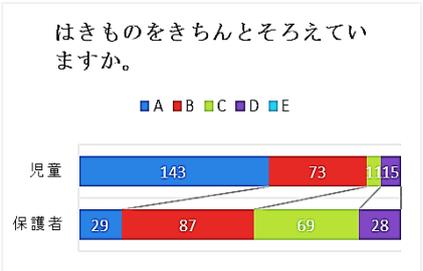
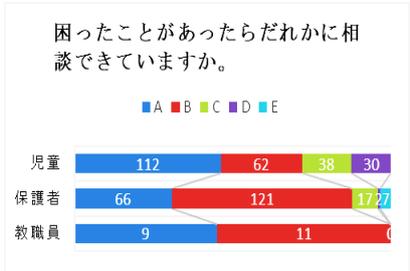
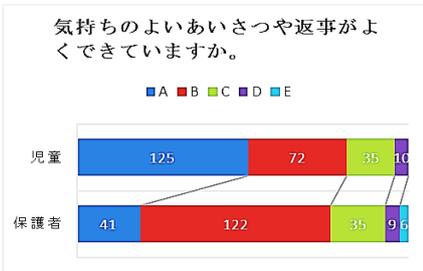
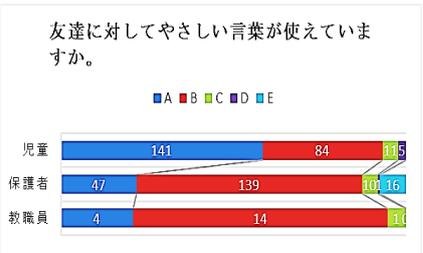
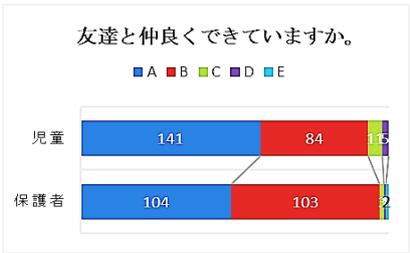
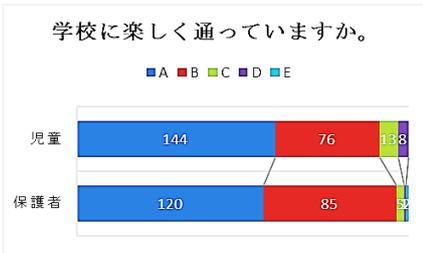
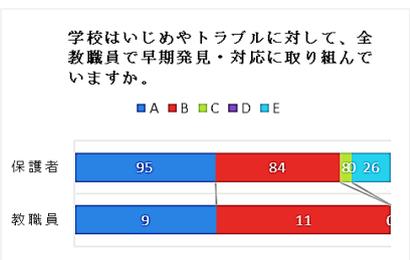
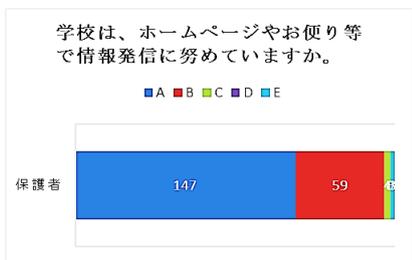
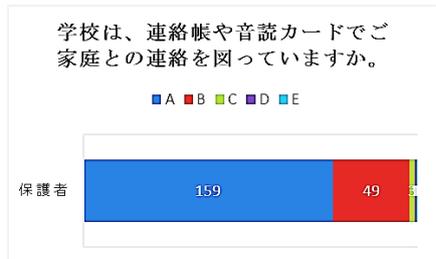
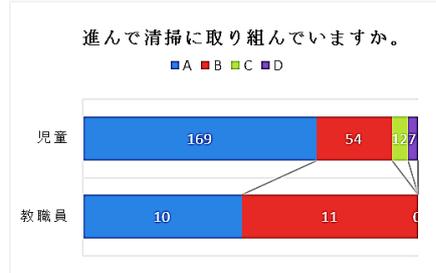
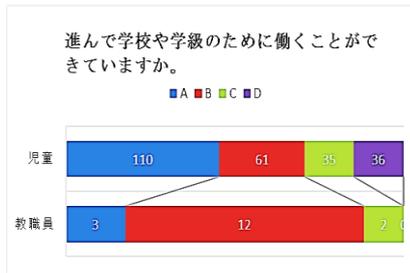
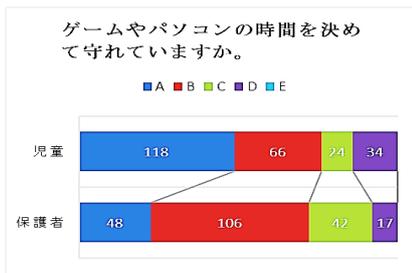


# 令和4年度学校評価結果の報告書

四国中央市立中之庄小学校

## 1 教職員による自己評価・保護者アンケート・児童アンケートの集計結果





## 2 考察

### (1) 学力に関すること

- 朝ドリルの取り組み方や学習内容の理解については、肯定的な評価をしている児童が多い一方、子どもの学習内容の理解について不安を感じておられる保護者の方の割合が増えていることが分かった。落ち着いて学習に取り組んでいく雰囲気をつくるとともに、ICTと従来の指導法とのベストミックスを探りながら、児童が意欲的に授業に取り組むことができる魅力的な授業づくりに努める。2学期後半からは放課後学習を再開しており、感染症対策を行いながら、個別学習に力を入れてきた。来年度も引き続き、学力につまずきの見られる児童への指導の充実を図っていく必要がある。
- 家庭学習や生活習慣、ゲームやパソコン等の使用についての設問では、評価が大きく好転するような変化は見られない。読書については、「よくできている」と回答している児童が大きく減少している。保護者の方の中にも、不十分と捉えている方が多い。学校として、読書に取り組むことができる時間を意図的に設けたり、市の図書館から児童の興味・関心に合わせた書籍を借り入れたり、週末の宿題として読書を設定したりと、子どもたちの読書への意欲が高まる工夫を検討・実施している。今年度から市図書館のデジタル図書の閲覧も可能になっているので、家庭と連携しながら、読書の習慣化を図っていきたい。

### (2) 学校生活に関すること

- 「学校に楽しく通っていますか」「友達と仲良くできていますか」という設問に対して、できていると感じている児童や保護者の方の割合に大きな変化は見られない。「学校は丁寧に対

応しているか」「いじめやトラブルに対して早期発見・対応に取り組んでいるか」などの設問に対しては、保護者の方からの肯定的な評価の割合が増えているが、今回の結果に甘んじることなく、改善すべき点を全教職員で共有し、児童との信頼関係を築き、保護者の方との連携を進めていきたい。

### 3 保護者からの意見と学校としての対応

- 児童の登下校について心配する意見があった。
  - 集合時刻を守ること、安全に登下校することなど、地区によって課題がある。学校でも、安全に登下校できるように指導を継続し、各家庭でも声掛けをお願いした。
- 児童数の減少に伴い、行事や集会について他校との合同開催はできないかとの意見があった。
  - 他校との合同開催の提案については現状では難しいが、来年度へ向けて、様々な行事の在り方を、児童にとってどうすればより良いものになるかという観点から検討したい。
- 教科書の持ち帰りについて、日によってはナップランドや手提げのバッグが荷物でいっぱいになり、登下校が大変であるとの意見があった。
  - 現在、児童の登下校の負担を考慮し、一定の条件下において教科書やノートを学校に置いて帰ることを推奨している。家庭学習で必要な場合などについては、学級担任と保護者と相談し、臨機応変に対応していく。
- 寒くなってからの服装について改善を求める意見があった。
  - 体調や健康面等で配慮が必要な場合には、保護者と相談して対応を検討していくことを確認した。今後、新しい制服の採用なども含め、服装や頭髪などのきまりについて、PTAの役員会などを通して、保護者の意見も取り入れる形で見直しを図っていく。
- ホームページについて写真を増やしてほしいという意見があった。
  - 児童の写真については、プライバシーに配慮し、精選したものを掲載していることを伝えた。今後も、保護者に学校の様子が伝わるホームページづくりに努める。

### 4 学校関係者評価の集計結果

	項 目	評価 (4点中)
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	3.50
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	3.13
3	教育活動や評価結果に対して、分かりやすく情報提供できているか。	3.38
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	2.63
5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	3.25

6	教職員は、生き生きと意欲的で、いじめのない明るい学校づくりに取り組んでいるか。	3.63
7	児童の健全育成、生活習慣の確立に向けて適切に取り組んでいるか。	3.38
8	学校は、安全で安心な学校づくりを進めているか。	3.50

## 5 学校運営協議会委員からの改善意見

- アンケート結果に見られる児童と保護者の考えの違いについては、家庭とのつながりを大事にした指導や家庭学習の在り方について改善ができれば良いのではないかと。
- P T Aの各部会が自主的に活動できるように、P T A活動を推進していくと良い。
- 朝の挨拶が元気な声でできる児童を増やしてほしい。学校外での挨拶ができると良いので、挨拶がよくできている子を全校児童の前で称揚するなど、手立てを工夫してほしい。
- 中之庄小学校の子どもたちには、あきらめない心や協調性、責任感などを身に付けてほしい。
- 横のつながり（学年）、縦のつながり（異学年）を大切にし、思いやりのある子に育ててほしい。
- 地域のことを知り、地域を愛し、誇りに思う子に育ててほしい。
- 児童には、コミュニケーションの基本である挨拶や考える力、へこたれない心の強さや体力、人への思いやりを身に付け、自分も他人も大切にできるようになってほしい。

## 6 次年度に向けての改善方策

### (1) 学習・学力に関すること

- ・ 基礎・基本の定着を図るために、標準学力調査の分析結果等を活用し、各教科、各単元で重点的に指導する事項を明確にした授業づくりを進める。
- ・ 表現力の育成に向けて、学習場面（一斉学習、個別学習、協働学習）に応じて、I C Tを活用した指導と従来の指導法とのベストミックスを図る。
- ・ 学校図書館の計画的な利用と蔵書の充実を図り、読書の習慣づくりを進める。

### (2) 生活(人間関係づくり・学校安全等)に関すること

- ・ コロナ禍で制限・中止していた活動については、安易に復活させるのではなく、実施学年や実施時期などを検討しながら、豊かな人間関係づくりにつながる行事・集会活動を精選し、実施する。
- ・ 気持ちの良い挨拶が自然に飛び交う学校を目指し、児童の主体的な活動も取り入れながら、継続的に指導する。

### (3) 家庭・地域との連携に関すること

- ・ コミュニティ・スクールの利点を生かし、学校・家庭・地域が一体となった学校運営を行う。その一つとして、「中之庄っ子応援隊」を募集し、ボランティアの組織化を図る。
- ・ 学級懇談やP T Aの役員会等を利用し、育てたい子どもの姿を学校と家庭で共有する。
- ・ 三島西中学校との連携を更に強化し、9年間を見通した教育活動を進める。